



レコードをトンカチに持ち替え、
つなげるのは木材とか漆喰だ。
ここはヒップホップフリークの桃源郷。

3面にレコードがびっしり。音楽は
囲まれて、中央のデスクでイラスト
を描く。仕事場としても最高！



左上/レコード部屋の奥の壁には、DIY
道具や〈メカニクス〉の手袋などを掛
ける。右上・左下/テガキさんの作品を
飾った階段を上った2階の根には〈バ
レス〉の帽子や「リバプールFC」のユニ
フォームなど、大好きなUKフーリガン
ものがズラリ。右下/「ブダブランド」
などのカセットは、手描きジャケット！



イラスト用の仕事道具は、「TOO」のCOO
PICというペン。常に1本も欠かさない。

あ { あ、これはヒップホップだと、テガキ
さん宅に足を踏み入れた瞬間に納得させら
れた。手作り感満載で、資材も加工せずに使い、
天井も2階の床下がそのまま。「困ったとき
にこそ面白いものが生まれるのは、音楽も部屋
も同じだと思います」って、要は予算不足。友
人の大工「HC Home's」の長谷川さんと一緒
に壁も棚もDJブースも自分たちで作ったのだ
った。眺めていると、男の好奇心を裸のまま詰
め込んだみたいでカッコいいなど素直に思う。
レコード聴き放題、彼のアート作品もいっぱい。
ここでブロックパーティをやったら楽しいだろ
う。“楽器がないなら、身近なもので最高の音
楽を”なんてヒップホップの格言は、部屋作り
にも確実に生きるんだね。



WELCOME
TO MY PLACE

テガキ

Illustrator, DJ_37

| AREA | 渋谷区代々木

| SPACE | 2LDK 60㎡

| REMARK | 築40年の一軒家を、コソコソとリフ
ォーム。目指したのはブルックリン
のロフトだけど、線路近くというのも相まって、「仕
上がりはゲットーブロンクス的です」とは本人の弁。



右/レアな「UREI」のミキサ
ーを搭載したDJブースは、
リフォームで余った木材を使
ってDIY。左/アフリカ・パ
ンパータのような音を繰り出
す〈ローランド〉のミキサー
「TR-8」は、使い方を勉強中。
棚には、〈パナソニック〉の
ショックウェーブやゴールド
ジュエリーなどの“必需品”
が詰まった区画も。



レトロな外観の扉を開けると、
Bボーイの極楽が広がっている。
ちなみにテガキさんが手に持
つのは、お父さんのソウルジ
NEが搭載された1980年6月
10日号の「ポパイ」。

